

陽

だ

ま

り

2020.1月発行  
第28号

通 信

NPO 法人 陽だまり

〒506-0059 高山市下林町 966-1  
電話 0577-36-6520 (FAX 兼用)

ホームページ <https://gh-hida.jp/>

グループホーム陽だまり高山市 検索

本年も  
どうぞよろしく  
お願い致します

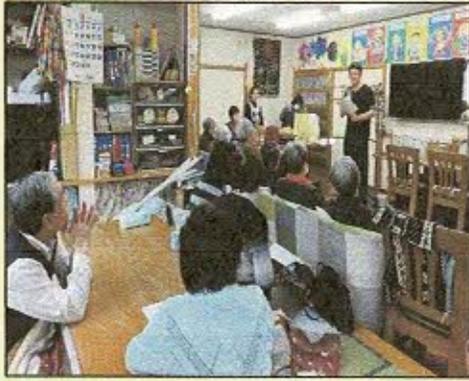


利用者さんの貼り絵の作品 玄関に貼り出し中

新年、あけましておめでとうございます。謹んで新春のお慶びを申し上げます。日頃は、陽だまりの事業運営に対し、利用者様やご家族様、地域の皆様や各機関の関係者様など、多くの方々に、ご支援やご協力をいただいていますこと、心よりお礼申し上げます。

さて、昨年は、日本各地で地震や台風などの大規模な災害が発生し、高山市内の施設でも停電の被害があったことを耳にいたしました。改めて、日々の防災準備が大切だと考える年でありました。グループホーム陽だまりは、お陰様で、今年3月で、開所から19年目を迎えることとなりました。地域の皆様をはじめ多くの方々の支えがあったお陰と感謝を忘れず、これからも災害対策などに努めながら、また、世間では介護現場の人手不足やサービスの質など多くの問題が聞かれますが、陽だまりも、人材育成など課題は多くありますので、一つ一つ地道にクリアしていき、利用者の皆さんが、明るく元気に生き生きと過ごしていただけるよう全職員が利用者の皆さんに寄り添いながら頑張っていきたいと思っております。今後とも、ご支援ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

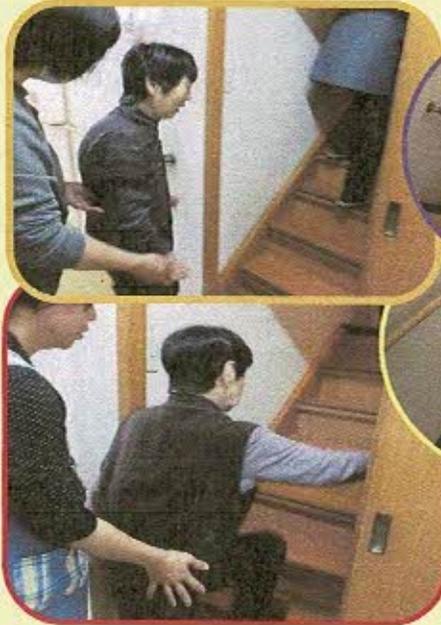
理事長 山本 憲久



訓練を実施しました。

- ① 2階への垂直避難
- ② 丈夫なテーブルの下にもぐる

10月29日(火)の午後の時間、第4回目の運営推進会議の中で、会議進行の山本(理事長)は、保健所が主催した災害時対策研修会で学んできた事をお話した。研修では、近年あった熊本地震災害を例にあげ、揺れが初振から終わりまで5分間、震度6以上でグラグラと揺れて、物が倒れる、物が落ちるのに5秒(軽い物は3秒)で倒れる。タンスを頭の上に置いていると5秒で倒れ、死にも繋がる大惨事である。被災して一番多かった事は、多くの人が、ガラスが割れて、被災した物がいっぱい散らばり怪我をした。そんな大惨事の熊本地震の震度は6.5位の揺れであった。最近の地震予報が比較的当たると言われている中、この地震の30年以内に起きる確率は0.1%~0.9%と低いらしい。それに対して、南海トラフは、30年以内に必ず起きると言われており、そちらは70%~80%位の確率らしく、間違いない大きな地震が来るという事なので、高山は大丈夫と考えず、普段から気をつけなければならないという事を学んできたと話した。



11月20日(木)、普段の生活で、2階へ上がることは、一人の利用者を除いてありません。今回、初めて全員が2階へ避難する訓練をしました。2階では、常備している非常食や飲料水が飲食可能かどうか実食してもらいました。お湯を入れて作るアルファ米は、どの方も食べられましたが、2階への上り下りの動作は、見守るだけで上れる人ばかりではありませんので、繰り返し訓練が必要と認識しました。また、もしも被災を受けた時は、多くの支え手が必要な中、近隣の方や職員も被災している状況等を考えると、多くの問題がある重大性を思う今日この頃です。地域の皆様やご家族様は、どう考えられますか？



11月27日(水)、居間のテーブルの下にもぐり、落下物から身を守る訓練をいたしました。

高齢の方にとって、しゃがみ込むという動作も、難しい方が多いです。繰り返し行い、職員もどう支えるかを体で覚えることや、利用者さんも、万が一、災害が発生したら、もぐるという手段がある事を理解してもらい機会になりました。